

第2回 人材支援委員会 議事次第

今回は、各機関における人材育成に関する取り組み状況、課題等についてご紹介いただいた後、意見交換を行いました。

若手人材育成支援 TF については、「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」が2009年度をもって終了するが、ポスドク等の就職はきわめて厳しい状況にあることから、来年度以降も継続して実施していくための方策を検討することとしました。

「NIMSにおける国際化の現状と課題」については、NIMS（物質・材料研究機構）の藤田高広氏から、

- ・ NIMS では外国籍研究者が23%を占めるようになっており、その業務や生活をサポートするため、事務スタッフには高い外国語能力が求められるようになっていること
- ・ 世界トップレベル研究拠点プログラムの採択を受けているNIMSの国際ナノアーキテクトゥクス研究拠点（MANA）は、東大のIPMUと並んで高い評価を得ていること
- ・ NIMSの国際化の課題は、①若手研究者の留学制度の拡充、②MANAシステムのNIMS全体への敷衍、③国際化に対応した事務職の養成、④優秀な外国籍研究者の確保などのご紹介がありました。

■日時 平成21年12月4日（金）午後3時～午後5時

■場所 研究交流センター 2階 第1会議室

■出席者 委員長： 二村 森

（敬称略） 副委員長： 井上 勲、片田康行

委員： 鈴木哲也（代理：柴崎太郎）、宮本常正、西嶋昭生、
門間美千子（代理：御子柴義郎）、秋永広幸、加藤英幸

オブザーバー：金井浩紫

事務局： 亀山仁彦、矢部英雄

■議事

- 1 前回の議事概要について
- 2 「ナノテク製造中核人材の養成プログラム」について（秋永委員）
- 3 「若手人材育成支援 TFにおける今後の取組課題と対応方針」について（加藤委員）
- 4 「外国人研究者受入れ環境整備促進事業（仮称）」について（井上副委員長）
- 5 「NIMSにおける国際化の現状と課題」について（NIMS 藤田高広 氏）
- 6 「第9回 TX テクノロジー・ショーケース in つくば2010」について（事務局）
- 7 次回の日程について： 2月上旬（予定）